

平成 15 年 1 月 6 日

各 位

東京都渋谷区渋谷 1 丁目 17 番 8 号
日本エンタープライズ株式会社
代表取締役社長 植田 勝典
(コード番号 4829)
問い合わせ先 IR 室 室長 中村次郎
(TEL 03 - 5774 - 5730)

声紋による本人認証サービスの開始に関するお知らせ

当社は、この度、ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社と提携して、モバイルコマース向けの声紋認証サービスを開始いたしますのでお知らせします。

記

1. サービスの内容

当社は、ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社（港区 代表：和智英樹）の有する声紋認証ソリューションを利用して「携帯電話サイト上での声紋認証エンジンを利用した本人認証ASPサービス」を提供するため、同社との提携を行いました。

現状、携帯電話サイトでは、本人認証をするためにIDやパスワードの入力を用いたセキュリティシステムが一般的に使用されております。しかしながら、ID・パスワードさえ知ってしまえば、他人の携帯電話からでもサービスを利用できるという弱点があり、モバイルコマースサイトやモバイルバンキング等、個人の資産・情報が携帯電話を通じて流通するようなサイト利用者が増えている状況下で、端末利用者を限定するためのセキュリティシステムがまだまだ薄弱であることは否定できない事実であります。

このような状況を鑑み、携帯電話に関するセキュリティのニーズが高まる中、当社はニュアンス・コミュニケーションズ株式会社の持つ声紋認証エンジンを利用し、各種ビジネスソリューションの展開を図って行く予定です。当社の役割としては、様々な携帯電話サイトに合わせたソリューション面での企画・開発・営業を担当する予定です。また、アプリケーションの開発については、バズヒッツ株式会社（品川区）が担当する予定であります。

声紋認証サービスが想定される携帯サイト例としましては、モバイルコマース、株式取引、バンキング、会員数やログを扱う管理者サイト、利用者限定の業務系サイト等々が挙げられます。

2. 声紋認証のメリット

誰もが持っている一人ひとりに固有なもの

- ・ 親子、兄弟、双子でも異なる
- ・ 特別な物を携帯する必要がない（比較：IDカード、パスポート）

専用の接触デバイスが必要ない

- ・ 指紋読み取り装置、アイリス・スキャン装置などが不要
- ・ 遠隔地からでも認証可能 電話さえあればOK

パスワードやPIN番号よりも高い安全性

- ・ 盗んだり、推測することが困難

3. Nuance Communications Inc. について

設立： 1994年（スタンフォード大学研究所からスピンオフ）
本社： 米国シリコンバレー メンロパーク市
代表者： Mr. Ronald Croen
従業員数： 約400名
業務内容： 音声認識・声紋認証システム開発
顧客例： UPS（米国運輸サービス業者）、SEARS（スーパー・チェーン）
Sprint PCS（米国携帯電話会社）、AT&T（米国電話会社）
Charles Schwab（米国証券会社）
主要株主： Cisco, Sun Microsystems, Siebel, Motorola, VISA 他
株式上場： 2000年4月（米国NASDAQ市場）
日本進出： 1998年に日本で事業開始
日本法人： ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社（2001年9月設立）
米国 Nuance Communications Inc. の100%出資子会社

4. 今後の見通しについて

「携帯電話サイト上での声紋認証エンジンを利用した本人認証ASPサービス」の展開により、2004年5月末までに50社の顧客を獲得することを目標とします。

以上